

# 2019年度 高山村立高山中学校グランドデザイン

## 【生徒の姿】

- 規範意識のある生徒が多い。
- 授業や生徒会活動等諸活動に誠実に取り組むことができる。
- 挨拶や歌声を大切にしようとしている。
- 縦割り清掃に積極的に取り組み、無言で清掃を行おうとしている。
- 自分を表現する力が高まりつつある。
- △思いやれるが、揉まれる経験が少ない。
- △思いが先行し、現実に即しながら、工夫して取り組む姿勢がやや弱い。
- △教科、領域、分野によって学力の定着に差が見られる。(習得、発達)
- △家庭学習への取り組みに差が見られる。

《学校目標》  
**自ら学び 高みゆく**  
 ~生徒自身が興味・関心・意欲をもって  
 よりよい自分づくり・仲間づくりへの高まりを追い求めてゆく~

- 【保護者・地域の姿】
- ・行事や生徒会・部活動等、学校教育に協力的である。
  - ・PTA活動に協力的である。
  - ・子どもの学力向上、安心・安全な学校づくりへの期待が高い。
  - ・健全な生徒の育成を願っている。
  - ・村からの学校支援が厚い。
  - ・悩みを有する家庭が増えている

## めざす姿

学校：家庭・地域との連携を深め、地域に開かれた、信頼される学校づくり  
 高山村共育コミュニティースクールの推進（学習支援ボランティアの活用）  
 生徒：何事にも明るく積極的に関わり、自らを高めていく強い意志を持つ生徒  
 相手を尊重し、互いに磨き合って成長していくことを自覚できる生徒  
 職員：生徒に対して常に真正面から向かい合うことのできる職員、職員集団  
 生徒育成を第一義とし、同僚性に満ち、互いを高め合う職員集団

## 【学校長の願い】

学校目標の先の目指す姿として、これからの高山村を担う人材に育てたい。

## めざす姿に迫るための支援

## 今年度の重点活動

『響き合う歌声・挨拶』

『聴き合い、語り合い』

『無言・気づきの清掃』

- 「共通認識で進める取り組み」
- ◆不登校、不適応生徒への指導・支援の向上と未然防止
  - ◆学力向上の取り組み（授業改善・家庭学習の充実）
  - ◆個に寄り添った生徒・生活指導と問題行動の未然防止
  - ◆基本的な生活・学習習慣を向上させる指導の充実（食育等）

## 基礎・基本を身につけ、連続的な学びができる自分づくり

- 2019年度全校研究テーマ「聴きあい、学びあう集団づくり」
- ◎学力の充実を図る
    - 基礎・基本の定着
      - ・生徒主体の授業への転換(グループ学習等、学びあう授業形態の工夫、個に沿った題材・教材の工夫)
      - ・具体や生活と関連付けた“分かる授業”の実現
      - ・課題の明確化とねらいの達成の見とどけ
      - ・“できる”につながる家庭学習(主体的学習)
    - 学力の保障
      - ・30人規模学級指導、学習支援体制の確立
      - ・少人数学習指導(数学・英語)
      - ・特別支援教育体制、個別指導の充実
      - ・ベネッセ学力検査等による学力の分析を生かした指導
      - ・「高みゆく時間」による補充補強学習(週2回)
  - ◎読書
    - 朝読書を通しての落ち着いた一日の始まり
    - ・前、後期読書旬間
  - ◎ESDの推進(ユネスコスクール)ふるさと
    - 「総合」の時間を中心とした、「故郷高山村と私」の学習(地域課題の把握・学習・村への提案)
    - キャリア教育の充実
      - ・目的意識のある進路設計
      - ・職場体験学習の推進と報告
      - ・故郷たかやまデー → 紅葉祭・中学生議会で発表
  - ◎清掃無言
    - 「無言・気づきの清掃」による心育(黙想)
    - 生徒会を主体とした取組 → 縦割り清掃を各学期1回実施

## お互いを尊重し合える仲間づくり

- ◎挨拶・歌声の響き合う学校づくり
  - 挨拶運動等を通して関わりを広め深める
  - 人間関係づくり・コミュニケーション能力の育成
  - 歌声を通して伸び伸びと表現する生徒の育成
  - 学級・学年での歌声づくり(協力と成功体験) → 音楽会・響けみんなの歌声集会での発表
- ◎人権尊重
  - 「友達憲章」を基盤とした豊かな人間性の育成・学級友達憲章づくりと発表
  - 豊かな感受性・人権感覚の育成、適切な判断ができる生徒の育成(前、後期人権教育強調月間)
  - 所属感・存在感のある学級づくり  
Q-U等による集団分析とその活用(学級経営案)
- ◎自尊感情の醸成
  - 授業や特別活動を通しての生徒理解とカウンセリング
  - 学習や活動を通しての成功体験
- ◎規範意識に支えられた集団づくり
  - 節度・メリハリのある生活・時間・言葉遣い・物の扱い

- 「Connect~誰からも愛される学校へ」の実践
- ・外まで届ける挨拶
  - ・つなぐ清掃
  - ・意見の共有
- 生徒会

## 2019年度 「更なる学力向上に向けて」

- ◎授業がよくなる3観点の「見とどけ」の時間確保  
協働的に課題を解決する学習活動の導入(グループ学習等の導入)
- ◎各種検査の分析を生かした検証(高みゆく時間の充実)
- ◎生徒アンケートで力がついたと考える生徒の割合を90%に(7・11月検証)
- ◎学習内容の確実な定着化を図る家庭学習「手引きの活用」
- ◎教科内研究会の充実(各教科で自主研修を実施)

## 信頼される学校づくり

- ◎安全な学校
  - 危機管理の充実
  - 登下校時の安全指導
  - 個人情報の保護
- ◎PTAとの連携
  - PTA各種事業の推進
  - 参観日での発信
- ◎学級だより、学年だより、学校だより、HPによる情報の発信
- ◎学校自己評価の実施と公表
- ◎小・中の連携
  - 小・中合同教職員会の実施
  - 小・中交換授業参観等の研修
- ◎地域行事への積極的参加
- ◎職員の研修・研鑽・評価